

平成29年度第1回
東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会
資料評価部会（美術部会）

平成29年10月18日（水）
東京都江戸東京博物館 2階会議室

午後 3 時 50 分開会

矢中企画調整課課長代理：それでは、出席の委員の方々はおそろいですので、定刻よりはまだ10分ほどお時間があるのですが、早目に始めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日は、お忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。

ただいまから「平成29年度第1回東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会 資料評価部会（美術部会）」を開催いたします。よろしくお願いいたします。

私は、東京都生活文化局文化振興部で文化施設担当の課長代理をしております矢中と申します。本日の司会を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

資料収蔵委員会につきましては、収集部会と評価部会の2つの部会がございまして、収集部会は江戸東京博物館の収蔵品としてふさわしいか否かを御審議いただく部会、評価部会のほうは江戸東京博物館の収蔵品としての価格を委員の方々に評価いただく部会となっております。

なお、本日午前10時から収集部会を開催しておりまして、これから本部会でお諮りする案件につきましては、収蔵するのが適切であるという御意見を既にいただいているところでございます。

本日の評価部会につきましては、都民の財産となりますこれらの貴重な資料につきまして、適正な価格評価をよろしくお願いいたします。

初めに、東京都江戸東京博物館の小林副館長から御挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

小林副館長：本日は、東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会の評価部会にお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。今年度第1回の資料収蔵委員会となります。

本評価部会は、2点の絵画作品の御評価をお願いしたいと存じます。いずれも、常設展示室あるいは展覧会での活用が十分に可能であり、江戸東京博物館にとっては必要不可欠な資料と判断しております。御審議のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

矢中企画調整課課長代理：ありがとうございました。

続きまして、本日御出席いただきました委員の皆様を順に御紹介させていただきます。恐縮ですが、私から向かって左の席から順にお名前を御紹介させていただきます。

まず、黒田委員でございます。

田辺委員でございます。

内藤委員でございます。

大澤委員でございます。

小堀委員でございます。

続きまして、事務局職員を御紹介いたします。

東京都江戸東京博物館事業企画課長の飯塚でございます。

それでは、これから議事に入りたいと思います。議事に先立ちまして、当部会の公開に

つきまして、私のほうから御説明申し上げます。

当部会につきましては、東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会設置要綱第12の規定によりまして、原則公開となっております。そのため、委員の皆様のお名前と現職名につきましては、東京都のホームページ上にて公開しております。一方、当部会における評価対象資料の価格評価に関する議事につきましては、同要綱第12第1項（1）の規定によりまして非公開としております。

また、当部会の議事録につきましては、同要綱第12第2項の規定により、資料収集が決定した後、公開を予定しております。公開に当たりましては、事前に各委員の皆様にご確認をいただきたいと考えておりますので、よろしくごお願いいたします。

なお、その際も同要綱第12第2項（1）の規定によりまして、委員個別の価格評価につきましては非公開となります。

それでは、議事の内容に入りたいと思います。

まず、飯塚課長から本日御評価いただく資料の説明をお願いいたします。

飯塚事業企画課長：それでは、説明の前にお手元の資料の確認をお願いいたします。

一番上に座席表がございます。

その下に、A4縦判の会議次第がございます。

次に、A4縦判の委員名簿がございます。

続きまして、A4縦判で「東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会設置要綱」がホチキスどめでございます。

同じくA4縦判で、「平成29年度第1回資料収蔵委員会 資料評価部会（美術部会）説明資料」がございます。

その下に、A3の横判で、「平成29年度第1回資料収蔵委員会（美術部会）評価票」がございます。

最後に、「平成29年度第1回資料収蔵委員会資料 資料評価部会（美術部会）」がございます。

なお、お配りしました名簿の肩書などに誤りがございましたら、恐れ入りますが、後ほど事務局へ御連絡いただければと存じます。

また、お手元に置きました資料につきましては、現時点では未公開の情報が含まれておりますので、会議終了後、回収させていただきたく存じます。

それでは、今回御評価いただく資料について説明いたします。A4縦判の「平成29年度第1回資料収蔵委員会 資料評価部会（美術部会）説明資料」をごらんください。

1つ目の「国書先導船図巻」でございます。これは、「国書先導船図」と書かれた旗を掲げる豊後臼杵藩稲葉家の川御座船が水上を行く姿を描いた資料です。

西国の大名は参勤交代において淀川をさかのぼりましたが、その際に用いた御座船は朝鮮通信使の迎接にも用いられました。稲葉家は、天和2年（1682）と正徳元年（1711）の朝鮮通信使来日に当たり御座船を出していることから、そのどちらかの迎接の際に制作さ

れたと考えられます。華やかな朝鮮通信使の淀川廻行が描かれたものは少ないため、本資料は大変貴重であり、常設展示「海外との文化交流」のコーナーなどで大いに活用できると考えております。

続きまして、2つ目の歌川国貞、「星の霜当世風俗 水を汲む女」は、水汲みの女性が廁のそばを歩く姿が描かれておりまして、町の便所の様子などを知ることができます。江戸の生活風俗を描いたこの錦絵は、常設展や企画展、特集展示など、さまざまな場面での活用が見込まれると考えております。

説明は以上でございます。何か御質問、御意見等がございますでしょうか。お願いいたします。

大澤委員：「国書先導船図巻」のほうですが、今の御説明で、稲葉家が提供した船が天和2年と正徳元年の2度あったというお話で、確かにそのとおりですが、私のほうで少し文献をこの間当たっております。稲葉家は天和2年に正使船を出しているというのが確認できました。一方、国書先導船は正徳元年に出しているということがわかりましたので、恐らくは正徳元年の川御座船を描いているのではないかと今のところは考えております。

以上です。

飯塚事業企画課長：かしこまりました。恐らく正徳元年の朝鮮通信使来日の際のものであろうということで、大変貴重な御意見を賜りまして、まことにありがとうございました。今後、本資料を調査、研究するに当たりまして、その御意見を踏まえて研究を進めさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

ほかに御意見等がございますでしょうか。よろしいでしょうか。

矢中企画調整課課長代理：続きまして、評価方法について私のほうから御説明申し上げます。

お配りしております評価票に金額並びに御署名をお願いいたします。委員の皆様の評価額を集計いたしまして、最高価格と最低価格を除いた残り価格の平均値を委員会としての評価額とさせていただきたいと考えております。

評価方法につきまして、何か御質問、御意見などはございますでしょうか。

それでは、早速、資料の実見に移りたいと思っておりますので、御移動をお願いいたします。資料に関する個別の御質問がございましたら、会場の学芸員に御質問ください。よろしくをお願いいたします。

(委員離席)

(資料実見)

(委員着席)

矢中企画調整課課長代理：議事を再開させていただきます。

資料をごらんになっていただきまして、改めて何か御意見、御質問等がございますでしょうか。よろしいでしょうか。

質問等がございませんようでしたら、早速ですが、お手元の評価票に価格評価と御署名

の記入をお願いいたします。

なお、金額の記入につきましては、消費税込みでの記入をお願いしたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。ペンで御記入をお願いいたします。

御記入がお済みになりましたら、挙手をいただきましたら係の者が確認にお伺いいたします。係の確認が終了次第、御退席いただいて結構でございます。よろしくをお願いいたします。

(評価票記入)

矢中企画調整課課長代理：ありがとうございました。

午後 4 時24分閉会

以上